

夜景サミット 2013in 香港（所感）

長崎市議会議員 向山 宗子

1 夜景サミット 2013in 香港

香港日本人倶楽部で開催された「夜景サミット 2013in 香港」に参加することが、今回の視察のメインテーマであったわけだが、十分にその意義は達せられたと思う。現地新聞社 4 社、テレビ局 1 社、旅行雑誌社 2 社、旅行代理店 7 社が参加したこのサミットで、世界新三大夜景の一地域代表として、「香港」「モナコ」と共に、田上市長が「長崎」の夜景のプレゼンテーションを行った。

長崎の夜景の魅力を紹介すると共に、長崎の歴史性、まちや食の魅力を紹介できたとても良いプレゼンだったと思う。

今回のサミットでは、「長崎」以外でも、北九州市や周南市ほか 7 都市から参加があり、熱心なプレゼンとロビー活動を展開していた。その中でも、市長、副議長ほか私たち議員も参加した本市のサミットにおける存在感は大きかったように思う。

まだまだ「日本の夜景を眺め、訪れる外国人」は、ほとんどいないと言われる状況にある中、外国に向けた「日本の夜景の素晴らしさ、美しさ」を伝え、海外の皆様を知って頂くアピールの第一歩となったのではないかと感じた。

また、日経・朝日・NHK・共同通信を通じて地方紙約 30 社で記事が掲載されたことは、国内へ向けての長崎の宣伝効果に役立ったと思う。

2 香港市街地の夜景

レパルスベイ、ビクトリアピーク、海洋公園など香港の市街地を視察。美しい街並や整備された展望台、香港島と九龍島を結ぶスターフェリーからの港の眺めなど素晴らしく、多くの観光客で賑わっていた。

海洋公園（オーシャンパーク）では、急な斜面にゴンドラが設置されており、広大な公園内を移動するために使用されていたが、長崎の駅から稲佐山にかけての直線移動ができないかなど想像させられ、おもしろく感じた。

ビクトリアピークからの夜景はとても素晴らしかった。高層建造物のたち並ぶ宝石箱のような夜景を実際目のあたりにして、逆に長崎の夜景の持つポテンシャルの高さを再認識することができた。世界の香港に対しても負けない美しさ、あたたかさのある夜景であると心から感じることもできたことに感謝した。

これからの長崎の売り方をもっともっと工夫していく必要性を感じると共に、時は今であることを重く受け止めさせていただいた。

ビクトリアハーバーでのシンフォニー・オブ・ライツは圧巻だった。各企業の出資による光と音楽の 15 分間のレーザーショーであり、規模に関しては太刀打ちできるものではないが、レーザーを使ってのこのような企画もおもしろく、何十台もの観光バスがこれを見るために止まっているほどの集客効果を果たしている点も、学ばなければならない点だと思った。